



可知小学校校長の渡邊元也です。

本校は、明治6年(1873)に創設され、今年143年をむかえ、岡山市でも最も古い伝統のある小学校のひとつです。中庭の大空に向かって大きく伸びている“くすのき”は、本校の象徴です。

保護者の皆様や地域の皆様は、学校への思いとして、くすのきのように未来に向かってたくましく生きていく子どもを育ててほしいと願っています。

本校では、大空に向かって大きく伸びているくすのきのような子どもを「**いきいき可知っ子**」とし、めざす子ども像を「**やさしい子**」「**考える子**」「**たくましい子**」としています。

また、可知小学校では、創立140周年にキャラクターが誕生しました。そこで、次の年から、そのキャラクターを使ってめざす子ども像を意識しやすいように工夫しました。



<くすのっきー>

可知のことなら何でも知っているやさしいおじいさん

<やさしい子>

めざせ「くすのっきー」のようなやさしい子



<可っちゃん>

何でも挑戦するがんばりやさんの男の子

<たくましい子>

めざせ「可っちゃん」のようなたくましい子



<知っちゃん>

何でも知りたがり、読書好きな女の子

<考える子>

めざせ「知っちゃん」のような考える子